

公社等外郭団体改革進行管理表

公 社 名	公益財団法人 高知県魚さい加工公社	主管課名	環境対策課																																
役 割	魚腸骨等の適正な再生利用に関する各種事業の実施及び再生利用促進のための知識及び指導の普及啓発																																		
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚腸骨等の再生利用（鮮魚店や量販店、水産加工場等から排出される魚さいを魚粉や魚骨などに加工して、飼料や肥料等の原材料としてリサイクル）</li> <li>・魚腸骨再生利用の普及啓発</li> </ul>																																
令和2年度までの取組実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年4月から新施設で操業を開始。</li> </ul> </li> <li>2 運営体制の転換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年4月からは、財団専任の事務局長（専務理事）を置いて独自の運営体制を整え、事務局への人的支援を廃止するなど、県の関与の見直しを行った。</li> </ul> </li> <li>3 収支・財務の健全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の当期収支は3,931千円の黒字</li> <li>・次期繰越収支差額は67,082千円の黒字</li> </ul> </li> <li>4 魚さいの適正処理と再生製品の出荷 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の収集量3,057 t (前年比99.8%)</li> <li>・令和2年度の再生品製造出荷量703 t (前年比101.7%)</li> </ul> </li> <li>5 平成25年4月1日に公益財団法人へ移行。</li> </ol>	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は魚あらの取扱量は前年度並みに推移し、魚粉単価は前年度に比べてわずかに低かった。結果、単年度収支は約393万円の黒字であった。一方、現在地に移転して15年が経過しており、今後は設備類の修繕費用の増加が見込まれる。安定した経営を確保するためには、抜本的な経営改善が必要。</li> <li>・累積赤字は出していないが、施設の減価償却引当が行われておらず、正味財産は年々減少。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>正味財産期末残高</th> <th>(前年度との差額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23年度</td><td>544,769千円</td><td>(△31,048千円)</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>487,818千円</td><td>(△56,951千円)</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>449,301千円</td><td>(△38,517千円)</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>427,228千円</td><td>(△22,073千円)</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>394,552千円</td><td>(△32,676千円)</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>374,466千円</td><td>(△20,086千円)</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>353,671千円</td><td>(△20,795千円)</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>333,522千円</td><td>(△20,149千円)</td></tr> <tr><td>R 1年度</td><td>322,465千円</td><td>(△11,057千円)</td></tr> <tr><td>R 2年度</td><td>302,067千円</td><td>(△20,398千円)</td></tr> </tbody> </table>		正味財産期末残高	(前年度との差額)	H23年度	544,769千円	(△31,048千円)	H24年度	487,818千円	(△56,951千円)	H25年度	449,301千円	(△38,517千円)	H26年度	427,228千円	(△22,073千円)	H27年度	394,552千円	(△32,676千円)	H28年度	374,466千円	(△20,086千円)	H29年度	353,671千円	(△20,795千円)	H30年度	333,522千円	(△20,149千円)	R 1年度	322,465千円	(△11,057千円)	R 2年度	302,067千円	(△20,398千円)
		正味財産期末残高	(前年度との差額)																																
H23年度	544,769千円	(△31,048千円)																																	
H24年度	487,818千円	(△56,951千円)																																	
H25年度	449,301千円	(△38,517千円)																																	
H26年度	427,228千円	(△22,073千円)																																	
H27年度	394,552千円	(△32,676千円)																																	
H28年度	374,466千円	(△20,086千円)																																	
H29年度	353,671千円	(△20,795千円)																																	
H30年度	333,522千円	(△20,149千円)																																	
R 1年度	322,465千円	(△11,057千円)																																	
R 2年度	302,067千円	(△20,398千円)																																	
<p>【令和3年度以降の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に公社が設置した「経営改善検討委員会」において、構成市町村等とともに公社の経営改善計画の策定に向けた検討を行った。</li> <li>老朽化している施設の整備・機械の交換については、当面、最低限のメンテナンス経費を計上して対応していくこととしている。</li> <li>・公社に対しては、健全経営の確保のため、経費縮減に努めるとともに、取引先の開拓や市場調査、分析などにより、受入量の確保及び拡大を図るよう引き続き要請していく。</li> </ul>																																			